MONITOUCH

2025.04

V-SFT Ver. 6.2.6.0 バージョンアップ情報

	V10	V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 1.400	Ver. 3.200	Ver. 2.450	Ver. 2.390	Ver. 1.900 *2
OS	Ver. 1.50 *1	Ver. 5.00 *1			

*1 アップデートするには、ストレージが必要です。
*2 X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

接続

1 接続可能機種追加 ： 富士電機　FRENIC-MEGA(G2) (MODBUS TCP/IP)

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： 富士電機　FRENIC-MEGA(G2) (MODBUS TCP/IP)

2 接続可能機種追加 ： 富士電機　FRENIC-Ace(E3) (MODBUS TCP/IP)

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： 富士電機　FRENIC-Ace(E3)(MODBUS TCP/IP)

3 接続可能機種追加 ： 富士電機　FRENIC-Ace(E3) (MODBUS RTU)

対応機種： V10/V9/TS2060、X1
接続機種： 富士電機　FRENIC-Ace(E3)(MODBUS RTU)

4 接続可能機種追加 ：三菱電機　iQ-Rシリーズタグ (内蔵Ethernet)

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： 三菱電機　iQ-Rシリーズタグ（内蔵Ethernet）

【概要】
タグとPLCデバイス両方使用可

5 接続可能機種追加 ：キーエンス　KV-8000タグ (Ethernet UDP/IP)

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： キーエンス　KV-8000タグ（Ethernet UDP/IP）

【概要】
タグとPLCデバイス両方使用可

6 接続可能機種追加 ：チノー　LT23A (MODBUS RTU)

対応機種： V10/V9/TS2060/V8、X1
接続機種： チノー　LT23A（MODBUS RTU）

7 ラダー転送　仕様拡張 ：1:n接続対応

対応機種： V10/V9/TS2060
接続機種： 富士電機　FRENICシリーズ（ローダ）
富士電機　FRENIC-MEGA(G2)（MODBUS RTU）
富士電機　FRENIC-Ace(E3)（MODBUS RTU）

【概要】
一部の機種で、1:n接続のラダー転送機能に対応しました。

8 Ethernet(TCP/IP)接続　仕様拡張：通信ポート番号自動割り当て

対応機種： V10/V9、X1

【概要】
PLCとTCP/IP接続する時、モニタッチの通信ポートを自動割り当てできるようにしました。

【設定箇所】
［システム設定］→［本体設定］→［環境設定］→［TCP/IPのPLC通信用ポートを動的に割り当てる］にチェックします。

9 Etherent接続　仕様拡張：KeepAlive対応

対応機種： X1、TELLUS5/TELLUS4/TELLUS4（iPad）

【概要】
PLCとEthernet接続する時、KeepAlive機能が使えるようになりました。通信ダウンを早く検出できます。

【設定箇所】
［システム設定］→［ハードウェア設定］→［PLCnプロパティ］→［通信異常処理：切断］→［KeepAlive使用：する］を選択し、
PLCテーブルの［KeepAlive］にチェックします。

機能

1　ビデオ入力/RGB入力/RGB出力対応

＊OSのアップデートが必要

対応機種：V10xxiSxxG
オプションユニット型式：　GUX-00：ビデオ入力4CH　GUX-04：ビデオ入力1CH
GUX-01：RGB入力1CH　GUX-11：RGB入力2CH
GUX-02：RGB出力1CH
GUX-10：ビデオ入力2CH、RGB入力1CH

【概要】
V10シリーズ　Gタイプの本体に、オプションユニット「GUX-xx」を装着することで、ビデオ入力/RGB入力/RGB出力ができます。

2　HP製プリンタ　対応型式追加

対応機種：V10

＊OSのアップデートが必要

【概要】
V10シリーズで、接続可能なプリンタ型式が増えました。
参考：https://hakko-elec.co.jp/img/ja/pdf/printer_list_j.pdf

3　タイムサーバ接続対応

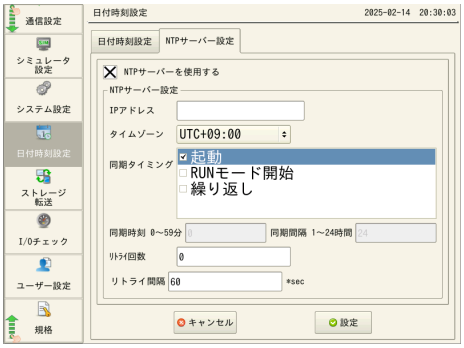
対応機種：V10/V9

＊OSのアップデートが必要

【概要】
タイムサーバ接続に対応しました。時計をタイムサーバと同期できます。

【設定箇所】
本体　［ローカル画面］→［日付時刻設定］→［NTPサーバ設定］→
［NTPサーバを使用する］チェックあり
NTPサーバのIPアドレス、同期タイミング等を設定します。

画面データ　［システム設定］→［本体設定］→［SRAM/時計］→
［内蔵時計を使用する］チェックあり



4　システムデバイス追加　$s1019

対応機種：V10/V9/TELLUS5/TELLUS4

【概要】
システムデバイス$s1016に、マクロコマンドMOVで値をセットすると、$s1018にバージョン情報、$s1019に本体の識別コードを格納します。

【システムデバイス】

$s1016	0：本体プログラムバージョン 3：フォントバージョン 4：OSバージョン 10：PLC1ドライババージョン 11：PLC2ドライババージョン 12：PLC3ドライババージョン 13：PLC4ドライババージョン 14：PLC5ドライババージョン 15：PLC6ドライババージョン 16：PLC7ドライババージョン 17：PLC8ドライババージョン 18：シミュレータバージョン 22：日本語変換（FEP）プログラムバージョン	MOVで書込 →V
$s1018	$s1016にセットした値を元にバージョン情報を格納	V→
$s1019	本体の識別コードを格納　NEW 1：V9/TELLUS4 2：V10/TELLUS5	V→

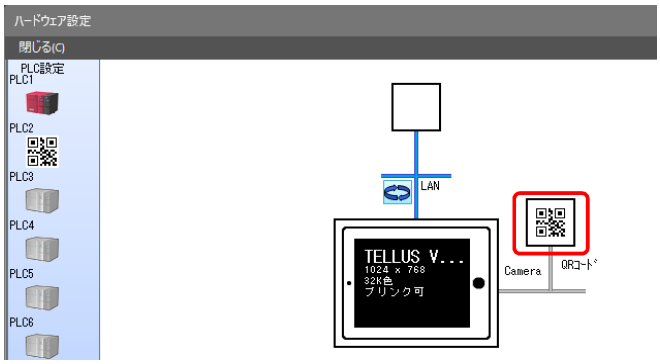
【設定例】
スイッチONマクロで　$s1016=4(W)　を実行
↓
$s1018に　OSバージョン　　$s1018=140　の場合　OSVer.1.40
$s1019に　識別コード　が格納されます。　　$s1019=2　の場合　V10シリーズ

5　カメラ機能によるバーコード読込対応

対応機種：TELLUS4(iPad)

【概要】
iPadのカメラ機能を使った、QRコード/バーコードの読込に対応しました。

【設定箇所】
画面データ　［システム設定］→［ハードウェア設定］→
［Camera］を設定します。



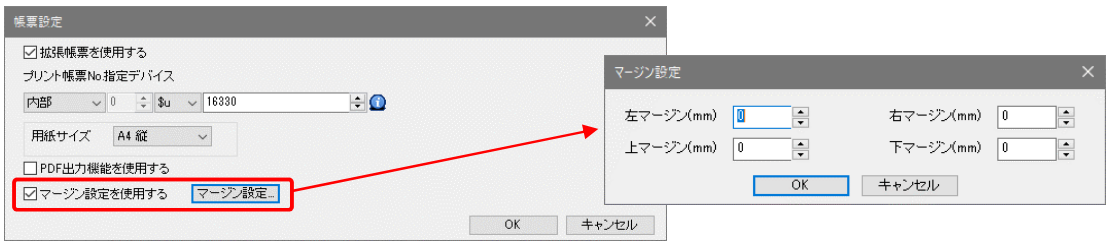
機能

6　拡張帳票印刷　機能改善

対応機種： X1、TELLUS5/TELLUS4

■文字の鮮明化
【設定箇所】
画面データ［システム設定］→［本体設定］→［環境設定］→［拡張帳票のPDF印刷時に文字描画を鮮明にする］にチェックします。

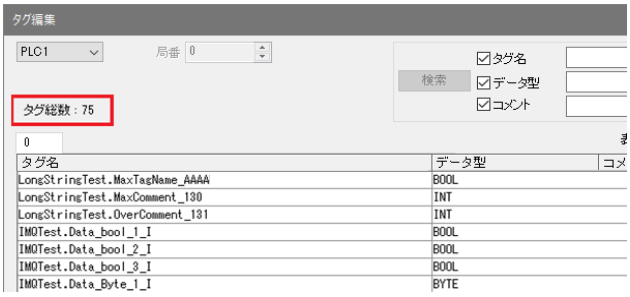
■余白調整
【設定箇所】
画面データ［システム設定］→［ハードウェア設定］→［プリンタプロパティ］→［帳票設定］→
［マージン設定を使用する］にチェックして、［マージン設定］を行います。



作画ソフト

1　Siemens製ソフトTIA Portal インポート機能拡張

【概要】
①TIA Portal Ver. 19で作成したTIA プロジェクトファイル（*.ap19）をインポート可能です。
②TIA Portalの設定で、以下のどちらかにチェックがある場合のみインポートを実行します。
・Properties→Attributes→Data block accessible from OPC UA
・General → Attributes → Usage
　→ Acessible from HMI /OPC UA /Web API
③インポート実行後、タグの総数を表示します。

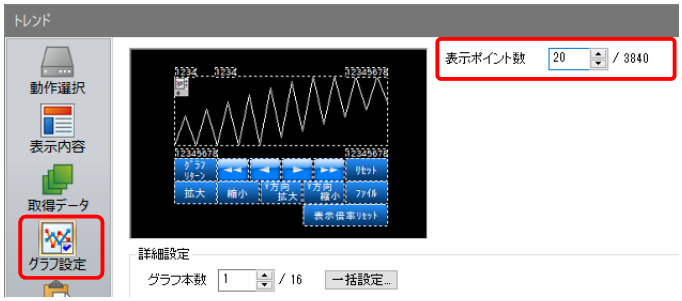


2　トレンド　表示ポイント数拡張

対応機種： TELLUS5

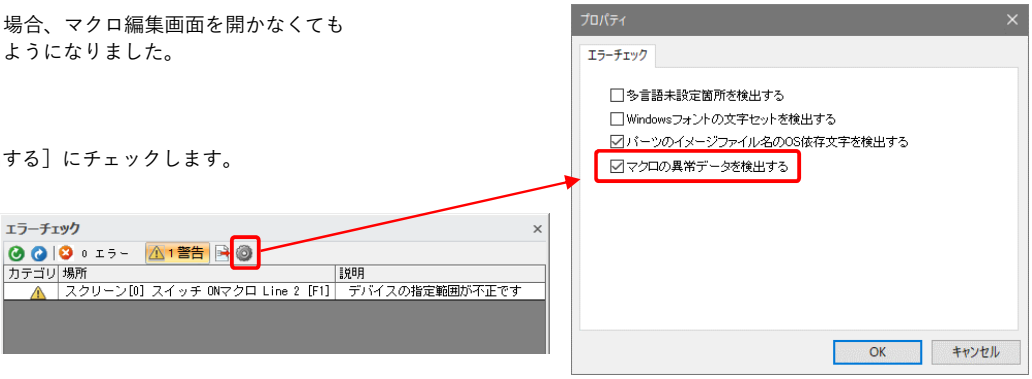
【概要】
トレンドパーツの［表示ポイント数］を最大3840に拡張しました。
［サイズ：3840 x 2160］の画面作成時、
トレンドのポイント数を3840まで設定できます。

【設定箇所】
トレンドパーツ →［グラフ設定］→［表示ポイント数］



【注意】
トレンドパーツの［幅］より大きい値を設定しないでください。グラフが正常に表示できません。

3　エラーチェック　動作改善

【概要】
マクロ内にエラーが含まれる場合、マクロ編集画面を開かなくても
エラーチェックで検出できるようになりました。

【設定箇所】
エラーチェックのプロパティ
［マクロの異常データを検出する］にチェックします。